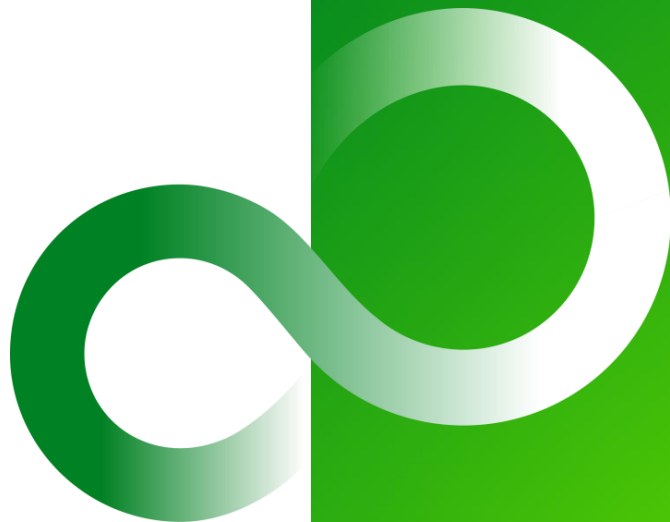


FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-ベアメタル ご紹介資料

2024年11月

富士通株式会社

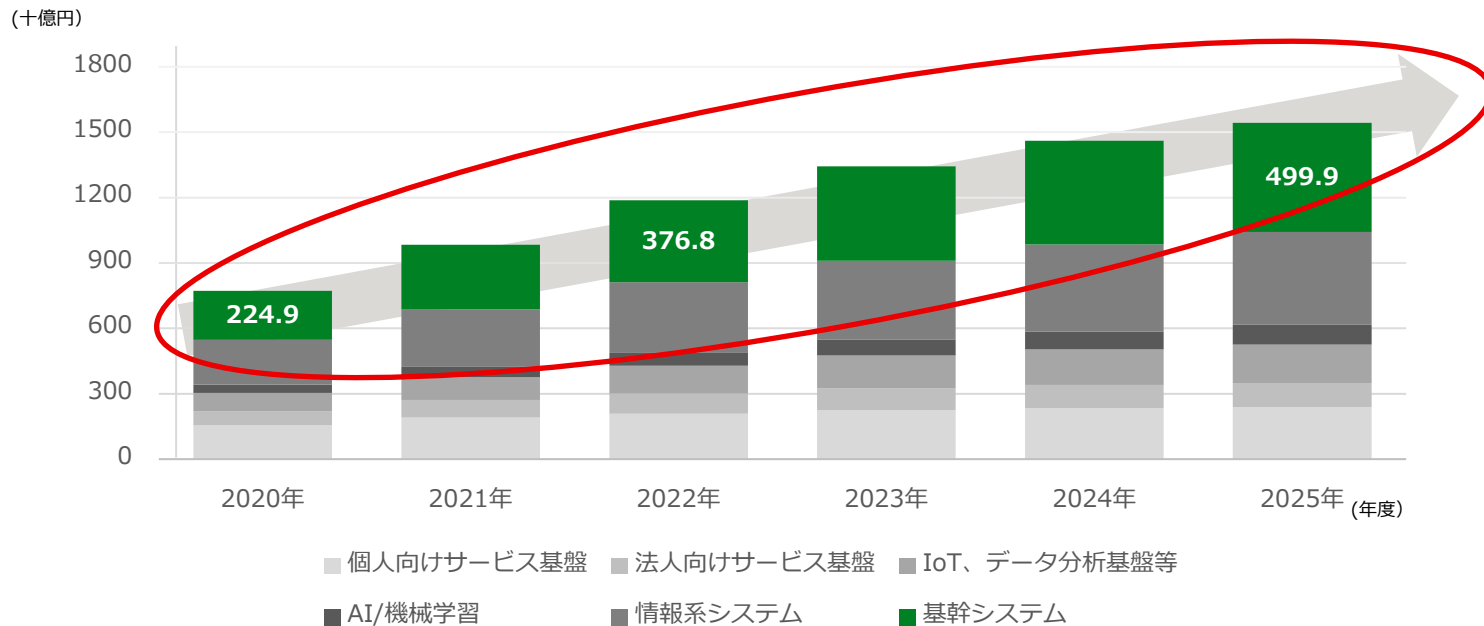


- サービス概要・特徴
- FJcloud-ベアメタル サービス詳細

サービス概要・特長

基幹システムのクラウド移行が本格化

○ 情報・フロントシステムに加え、基幹システムのクラウド移行が本格化



※2021年度見込、2022年度以降は予測

出典：富士キメラ総研「2022 クラウドコンピューティングの現状と将来展望」

- お客様のご要望にお応えする多様なクラウドサービスをラインナップしています。
- FUJITSU Hybrid IT Serviceは9,000社を超えるお客様にご利用いただいています。

FUJITSU Hybrid IT Service

OSSベースのクラウドサービス

FJcloud-O

VMware vSphere®基盤のクラウドサービス

FJcloud-V

場所を選ばない専有型クラウドサービス

FJcloud-Outstation

ベアメタルクラウドサービス

FJcloud-ベアメタル

Microsoft 社のAzureを活用したクラウドサービス

for Microsoft Azure

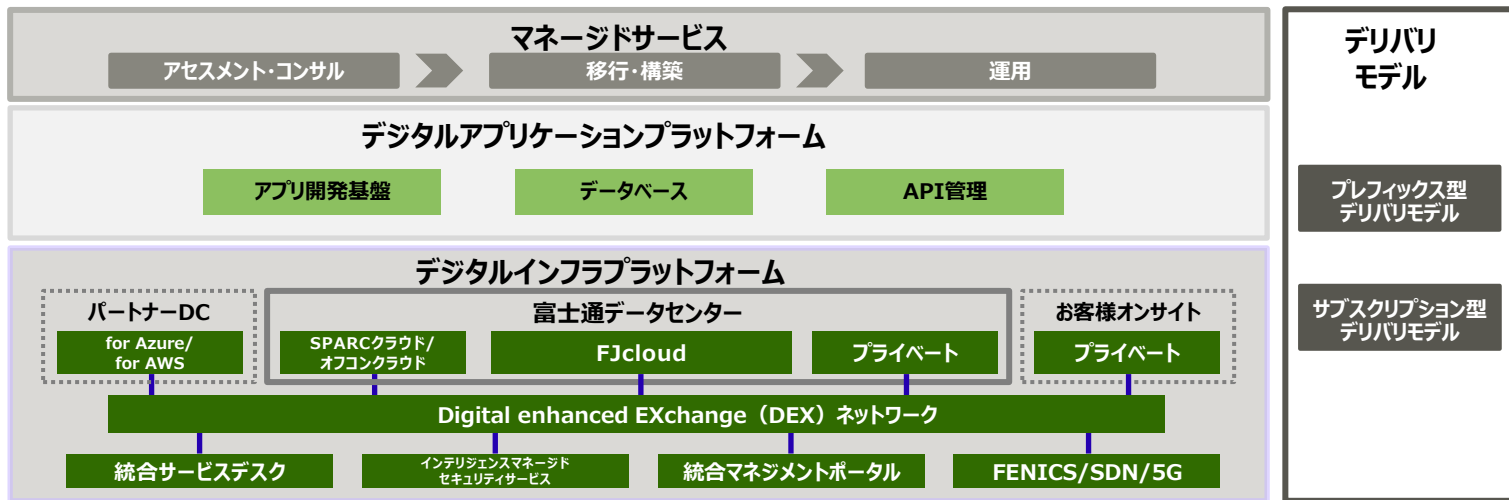
Amazon社のAWSを活用したクラウドサービス

for AWS



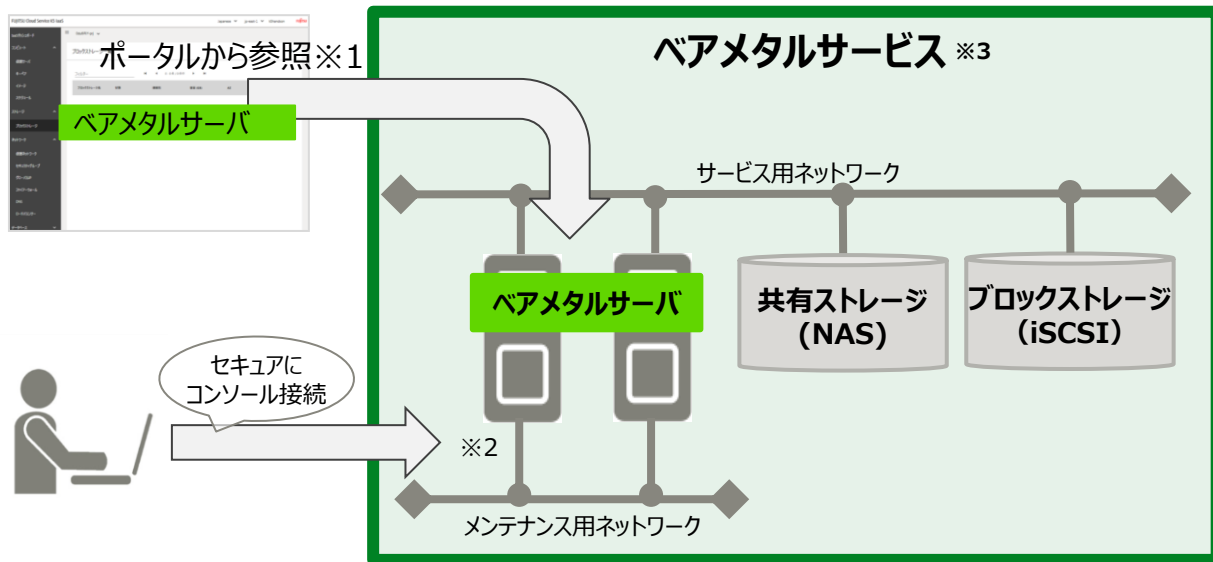
- FUJITSU Hybrid IT Service :
当社が長年提供してきた、クラウド、データセンター、ネットワーク、セキュリティ、システム運用保守などのインフラサービス、プロダクト、アプリケーション基盤などを新規技術の実装により強化し、新たにDC・クラウド接続基盤や統合マネジメントポータル等とともに、プレフィックスやサブスクリプションなどの形態で提供するソリューション群
- FJcloud : FUJITSU Hybrid IT Serviceのデジタルインフラプラットフォームを構成するサービスの一つ

<FUJITSU Hybrid IT Service>



FJcloud-ベアメタル サービス詳細

お客様専用の物理サーバを提供します。物理サーバを専有するため、ハードウェアの性能を最大限に活用でき、高い処理能力と安定したパフォーマンスを発揮します。
また、オンプレミスのシステムで利用しているOSやミドルウェアの資産を容易に移行できます。



※1 サービス提供開始時は申請書での配備依頼となります。ポータルからは配備後のリソースが参照可能です。

※2 物理サーバのリモート管理機能。ベアメタルサーバを操作するためのコンソール機能を利用できます。

※3 東日本リージョン3と西日本リージョン3で提供中のサービスです。

お客様専用の物理サーバを月額課金(利用期間 1ヶ月単位)で提供します。
ハードウェアの保守は富士通が実施します。

ベアメタルサーバ 仕様

構成	タイプ4	タイプ5※1※2	タイプ5a※2
サーバ機種	PRIMERGY RX2530 M5		
CPU	Intel Xeon 6242 2.8GHz x 1	Intel Xeon 5222 3.8GHz x 1	
メモリ	256GB		
ディスク	SAS SSD 400GBx 2 (RAID1)		
ネットワーク	10Gbps (Dual Port) x 2		
プレインストールOS/HV	CentOS 7.7		
ハイパースレッディング	OFF		
料金体系	月額課金 (拘束期間なし ※3)		
対象リージョン	東日本リージョン3、西日本リージョン3	西日本リージョン3	東日本リージョン3

- ベアメタルサーバのご利用にはお申込みが必要です。(※4)
- OS/ハイパーバイザーはインストール済で提供します。ライセンスはBYOLです。
- 物理サーバのiRMC (integrated Remote Management Controller) が利用でき、Windows ServerやCentOS等の上書きインストールが可能です。
- 2台以上を手配し冗長構成を組むことも可能です。

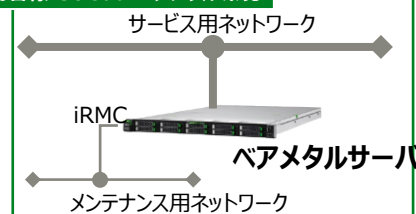
※1 ベアメタルサーバ「タイプ5」につきましては、新規受付を停止しております。

※2 タイプ5とタイプ5aは異なるSASアレイコントローラカードを使用しています。

※3 サービス利用中にサーバのハードウェアサポート切れに伴うサーバ入れ替えが発生する場合があります。

※4 ご希望のサーバ台数やお申込みのタイミングによりすぐにご利用できない場合があります。事前にご相談ください。

お客様FJcloud-ベアメタル環境



ベアメタルサーバ 長期利用モデル

ベアメタルサーバを3年または5年以上継続して利用できるモデルをご用意しました。
契約者は、既定の利用期限まで新しいハードウェアへ移行することなく利用できます。

ベアメタルサーバ 長期利用モデル仕様

構成	タイプ4 長期利用モデル※1	タイプ5/5a 長期利用モデル※1※2	タイプ5M6 長期利用モデル
サーバ機種	PRIMERGY RX2530 M5		PRIMERGY RX2530 M6
CPU	Intel Xeon 6242 2.8GHz x 1	Intel Xeon 5222 3.8GHz x 1	Intel Xeon 5315Y 3.2GHz x 1
メモリ	256GB		
ディスク	SAS SSD 400GB x 2 (RAID1)		
ネットワーク	10Gbps (Dual Port) x 2		
プレインスト-OS/HV	CentOS 7.7		Rocky Linux 8.5
ハイパースレッディング	OFF		
料金体系	月額課金 (5年間の拘束期間あり) ※3		月額課金 (3年間の拘束期間あり) ※3
利用期限	各タイプの利用期限については、「ベアメタルサービス仕様書」をご覧ください		
対象リージョン	東日本リージョン3、西日本リージョン3		

- ベアメタルサーバ長期利用モデルのご利用にはお申込みが必要です。(※4)
- OS/ハイパーバイザーはインストール済で提供します。ライセンスはBYOLです。
- 物理サーバのiRMC (integrated Remote Management Controller) が利用でき、Windows ServerやCentOS等の上書きインストールが可能です。
- 2台以上を手配し冗長構成を組むことも可能です。

※1 ベアメタルサーバ「タイプ4 長期利用モデル」、「タイプ5 長期利用モデル」、「タイプ5a 長期利用モデル」につきましては、新規受付を停止しております。

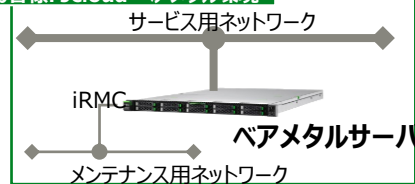
※2 タイプ5とタイプ5aは異なるSASアレイコントローラカードを使用しています。

※3 最低利用期間終了前に利用を終了する場合は、以下の中途解約料金が発生します。

中途解約金 = 提供価格 × 残存月数

※4 ご希望のサーバ台数やお申込みのタイミングによりすぐにご利用できない場合があります。事前にご相談ください。

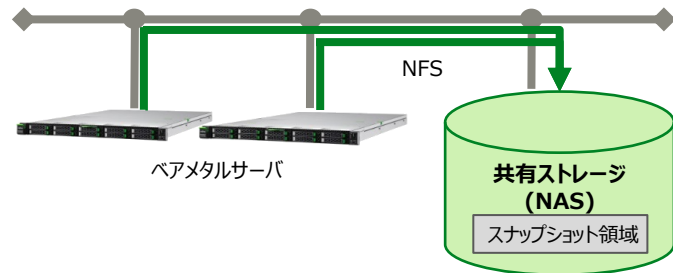
お客様FJcloud-ベアメタル環境



複数のベアメタルサーバと接続可能な共有ストレージ(NAS)を提供します。
ベアメタルサーバ間でデータ共有ができるほか、スナップショット機能を提供します。

共有ストレージ 仕様

項目	内容
ストレージサイズ	1ボリューム:0.5TB ~ 10TB (0.1TB単位) 複数ボリュームを利用可能
プロトコル	NFS
スナップショット機能	可能 (共有ストレージを使用)
料金体系	時間従量課金



ブロックストレージ (iSCSI)

複数のベアメタルサーバと接続可能なiSCSIストレージを提供します。
ベアメタルサーバ間でデータ共有ができるほか、スナップショット機能を提供します。
RDB要件にも応える、性能確保型のサービスです。

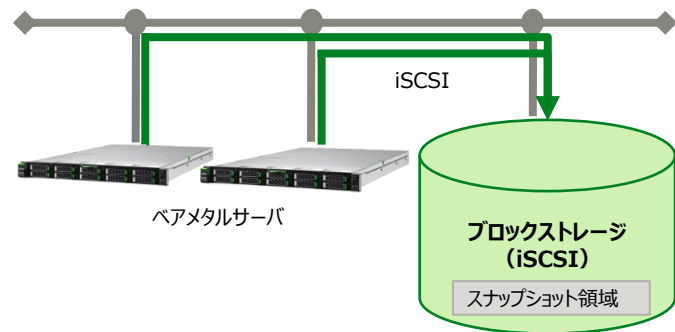
仕様

項目	内容
ストレージサイズ	1ボリューム:512GB ~ 10,240GB (GB単位) 複数ボリュームを利用可能
プロトコル	iSCSI
スナップショット機能	可能 (iSCSIストレージを使用) (※1)
料金体系	時間従量課金

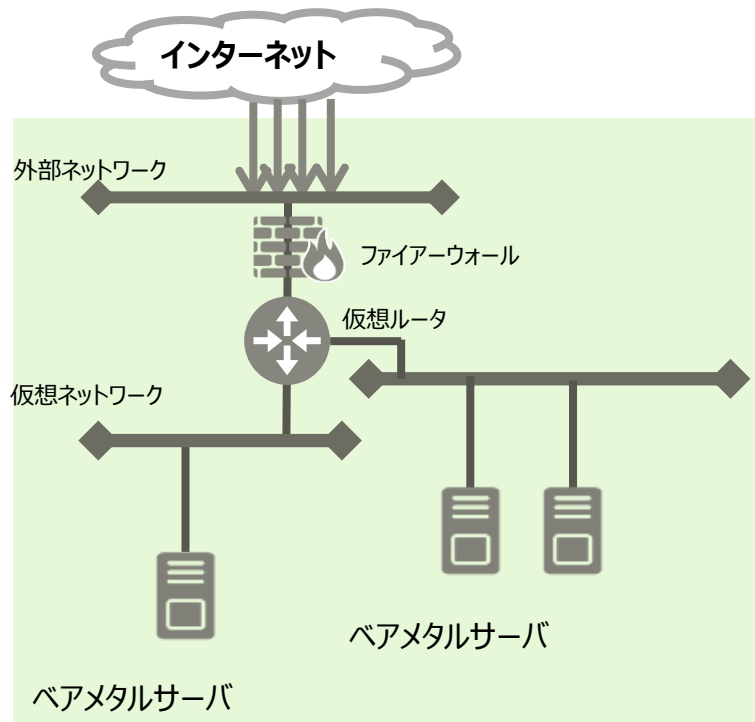
IO性能別 ストレージタイプ

タイプ	IO 性能
low	1IOPS/GB
medium	2IOPS/GB
high	4IOPS/GB

- ※1 スナップショット領域の空き容量は、iSCSI ストレージで使用するデータ容量と同等以上に確保する必要があります。
スナップショット領域も課金対象です。
- ※2 ストレージタイプによって課金額が変わります。詳しくは料金表にてご確認ください。



ソフトウェアでネットワーク環境を構成するため、物理的に構成を変更することなく柔軟なネットワーク構成を作成することができます。



- ベアメタルサーバのリソースが内部でIPv4通信(※1)するためのネットワークを仮想的なネットワークとして作成できます。
- 複数の仮想ネットワークを作成できます。
- プライベートIPアドレスは固定割当になります。(※2)

※1 以下のプライベートIPアドレスを利用できます。

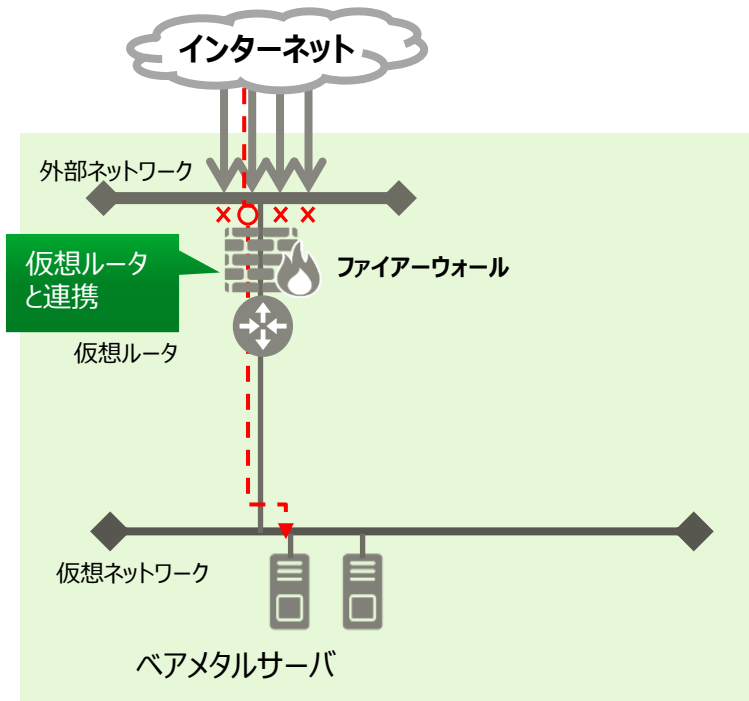
クラスA: 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255

クラスB: 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255

クラスC: 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

※2 DHCP機能によるプライベートIPアドレスの自動割当を行いたい場合は、同一サブネット上に別途DHCPサーバを構築する必要があります。

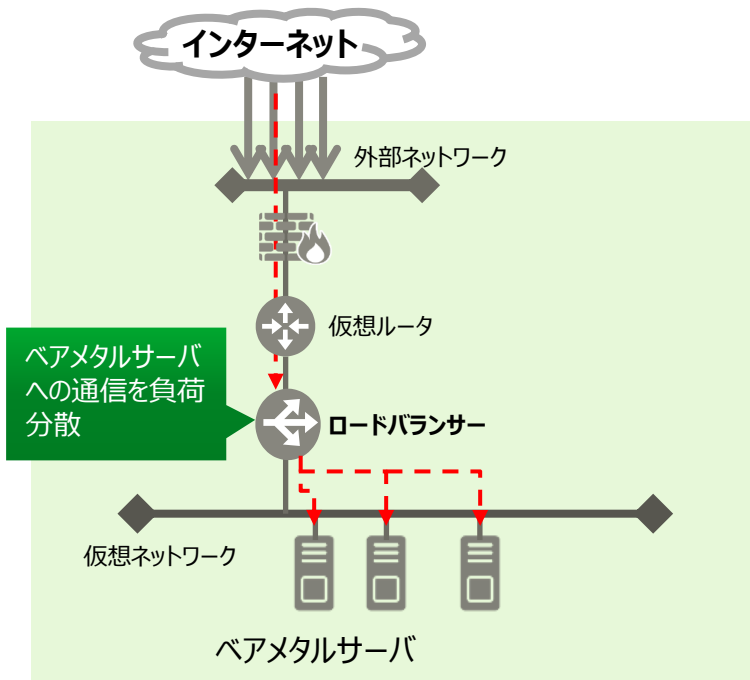
- 仮想ルータでパケットをフィルタリングする機能を提供します。
- 必要な通信だけを許可し、許可していない不正な通信を防ぐことができます。



ファイアウォール仕様

項目	内容
対象通信	インターネット → 仮想ネットワーク 仮想ネットワーク → インターネット
冗長構成	あり
プロトコル	TCP、UDP、ICMP
フィルター条件	・IPアドレス(CIDR) ・ポート番号(範囲) ・送信元・先

複数台のベアメタルサーバでトラフィックを分散して処理するためのロードバランサーを提供します。

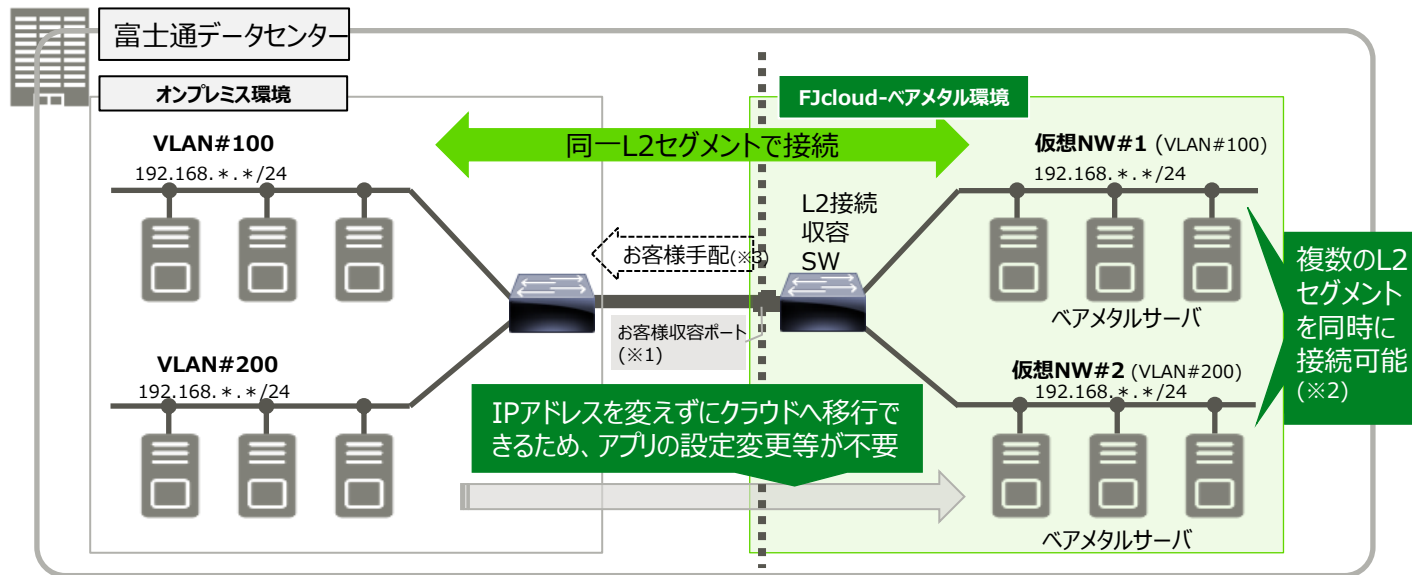


ロードバランサー 仕様

項目	内容
対象通信	インターネット → 仮想ネットワーク 仮想ネットワーク → 仮想ネットワーク
冗長構成	あり
分散アルゴリズム	ラウンドロビン、最小コネクション
対象プロトコル	HTTP、HTTPS、TCP、UDP、 TERMINATED_HTTPS (終端可能)
セッション維持ポリシー	コネクション単位、Cookie方式
故障監視	PING、HTTP(※)

※ HTTPを指定した場合はURL監視可能。

- 同一データセンター内にあるシステムをIPアドレスを変更せずにクラウドへ移行させるために、ネットワークセグメントをFUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-ベアメタル環境内へ拡張する機能を提供します。
- 1ポートで複数のL2セグメントを同時に接続できます。



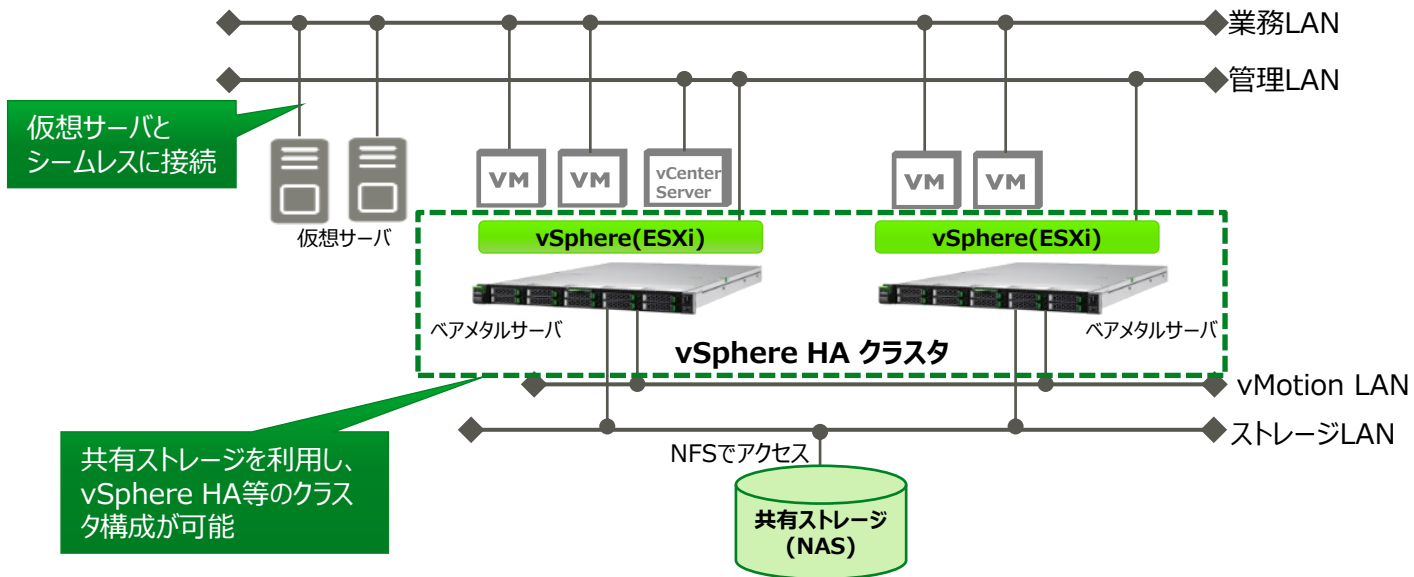
※1 お客様収容ポートとして、ダイレクトポート接続の1Gbpsポート/10Gbpsポートのいずれかを利用します。

※2 IEEE802.1Q タグVLANにより、複数のL2セグメントを接続することができます。

※3 収容ポートまでのケーブル敷設工事はお客様側で手配下さい。

ベアメタルサーバ構成例

- クラスタ構成等、オンプレミスのシステム構成や運用をそのまま持ち込めます。
- 仮想サーバとシームレスに連携できるため、システムの一部をスケールアウト構成にするなど、クラウドの特長を活かした利用も可能です。



- ベアメタルサーバ
 - 月額固定料金で課金されます。
 - 日割りでの計算はいたしません。
- ロードバランサー
 - 月額固定料金で課金されます。
 - プロジェクトあたりに料金月内での最大同時稼働数で課金額が決まります。
- 共有ストレージ
 - 時間従量課金になります。
- ブロックストレージ (iSCSI)
 - 時間従量課金になります。
- ライセンスについて
 - 本サービスではBYOL(Bring Your Own License)方式となります。
 - お客様側で所有しているライセンスを用いてご利用ください。

Thank you

